

## 益田市こども・子育て支援関係施設・団体調査(記述まとめ)

【問5】こどもの意見を聴く機会がありますか。取組事例や工夫がありましたら教えてください。

### ① 取組事例等:集計表(同じような回答について取りまとめたもの)

|                  | 件数  | 割合     |
|------------------|-----|--------|
| 子どもの意見を聞く機会がある   | 27  | 24.5%  |
| 活動内容を子どもと話し合う    | 14  | 12.7%  |
| 日々の保育で子どもの意見を尊重  | 12  | 10.9%  |
| 行事の内容を子どもと一緒に考える | 8   | 7.3%   |
| 地域イベントで子どもの意見を反映 | 8   | 7.3%   |
| 授業や活動のアンケート実施    | 7   | 6.4%   |
| 教育相談やアンケートを実施    | 5   | 4.5%   |
| 生徒会活動で意見を集める     | 4   | 3.6%   |
| 学校運営に児童が参加       | 4   | 3.6%   |
| 子ども会議で意見を共有      | 2   | 1.8%   |
| いずれもあてはまらない      | 19  | 17.3%  |
| 回答数              | 110 | 100.0% |

### ② 事例の概要

「こどもの意見を聴く取組事例」の事例の概要とその方法についてまとめたものです。

#### ### 取り組み事例

1. **\*\*保育活動において子どもの意見を取り入れる\*\***
  - 日々の保育活動や行事において、子どもたちの「やりたいこと」や「保護者に見て欲しいこと」を聞き、それを基に行事の内容を決定する。
2. **\*\*サークルタイムの実施\*\***
  - サークルタイムを設け、子どもたちが意見を出し合う機会を設ける。特に未満児には表情を読み取り、意見を代弁する形でサポートする。
3. **\*\*子ども会議の実施\*\***
  - 「子ども会議」という場を設け、子どもたちが主体となって活動内容やルールを決める。学年を超えて子どもたちだけで話し合う時間を持つことが重視されている。
4. **\*\*イベントや行事の計画に子どもの意見を反映\*\***
  - 各種イベントや公民館活動の際にアンケートを取り、子どもの意見を基に企画を行う。
5. **\*\*教育相談やアンケートの実施\*\***
  - 年に数回、教育相談やアンケートを通じて子どもの思いや考えを聞く機会を設ける。
6. **\*\*日常の会話や活動の中での意見聴取\*\***
  - 保育時間内の関わりや活動の中で、常に子どもたちの意見や考えを聞き取る機会を持つ。

7. **\*\*小・中高生のイベント企画への参加\*\***
  - イベントや企画の際に中高生の意見を取り入れ、活動を進める。また、小学生に対してもアンケートや対話を通じて意見を反映する。
8. **\*\*子どもが主体となるルール作り\*\***
  - 例えばボランティア活動の場では、子どもたちが主体となって意見を出したりルールを決めたりする。
9. **\*\*個別対応での意見聴取\*\***
  - 障がい児福祉サービス利用者などに対して、個別の計画作成やモニタリングの際に意見を聞く。
10. **\*\*子ども対象のイベントでの対話重視\*\***
  - 子ども食堂やボランティア活動の場で、子どもたちの意見を対話を通じて取り入れる。

### ③全体を通して共通する考え方や意見等

1. **\*\*子どもの主体性の尊重\*\***
  - 子どもが主体的に考え、意見を出す場を提供することが重視されている。意見を取り入れることで、子どもたちが活動に積極的に参加できる環境を作っている。
2. **\*\*年齢に応じたアプローチ\*\***
  - 年齢や発達段階に応じて、意見の聴取方法が工夫されている。例えば、未満児には表情や行動を通じて意思をくみ取る配慮がなされている。
3. **\*\*継続的な意見聴取\*\***
  - 一回限りではなく、日常的に子どもたちの意見を聞く機会を設け、継続的にその声を活動に反映することが求められている。

【問6】こどもの意見が居場所づくりに反映されていますか。取組事例や工夫がありましたら教えてください。

① 取組事例等：集計表(同じような回答について取りまとめたもの)

|                    | 件数 | 割合     |
|--------------------|----|--------|
| 子どもの意見を反映した環境づくり   | 16 | 19.3%  |
| 個々に合った過ごしやすい居場所    | 10 | 12.0%  |
| 居場所づくりのための活動実施     | 8  | 9.6%   |
| 学級会や児童会でのルール決定     | 8  | 9.6%   |
| 子どもの希望に応じた活動内容     | 8  | 9.6%   |
| 保育室の環境を子どもと共に作る    | 4  | 4.8%   |
| 安全で安心できる環境の提供      | 4  | 4.8%   |
| 子どもが自由に過ごせる空間作り    | 4  | 4.8%   |
| 地域の人々の意見を反映した場所づくり | 3  | 3.6%   |
| 学校生活環境の改良に生かす      | 3  | 3.6%   |
| いずれもあてはまらない        | 15 | 18.1%  |
| 回答数                | 83 | 100.0% |

② 事例の概要

「こどもの居場所づくり」の事例の概要とその方法についてまとめたものです。

### 取り組み事例

1. **\*\*子どもの意見を取り入れる\*\***
  - サークルタイムや「子ども会議」を通じて、子どもの意見を反映する取り組みが多い。
2. **\*\*安心感のある環境づくり\*\***
  - 子どもが安心して過ごせる環境を整えることが重視されている。
3. **\*\*居場所の選択肢を提供\*\***
  - 教室に入りづらい子どもに対して、保健室や校長室などの居場所の選択肢を提供する。
4. **\*\*自由に使えるスペースの提供\*\***
  - 夏休みや放課後などに、子どもたちが自由に使える公民館や学校のスペースを提供する。
5. **\*\*リノベーションと環境整備\*\***
  - 図書館や保育室のリノベーションを行い、過ごしやすい環境を整備する。
6. **\*\*駄菓子屋の設置\*\***
  - 子どもが楽しめる場所として、地域に駄菓子屋を設置する取り組み。
7. **\*\*委員会や生徒会活動の活用\*\***
  - 子どもたちが主体的に活動できる場を提供し、学校生活の改善に繋げる。
8. **\*\*個別対応の強化\*\***
  - 落ち着けない子どもに対して、一対一の対応を行い、安心感を提供する。
9. **\*\*定期的なイベントの開催\*\***
  - 年に数回、子どもたちが楽しめるイベントを企画し、参加を促進する。

10. **\*\*映画鑑賞などの文化的活動\*\***

- プロジェクターを使用した館内映画上映や映画館訪問など、子どもたちが文化を楽しむ活動を提供する。

③ **全体を通して共通する考え方や意見等**

1. **\*\*子どもの声を尊重する\*\***

- 取り組み全体を通じて、子どもの意見や希望を積極的に取り入れ、反映することが重視されている。

2. **\*\*安心・安全な環境の提供\*\***

- 子どもが安心して過ごせる環境づくりが最優先されており、個別のニーズにも配慮している。

3. **\*\*地域との連携\*\***

- 子どもの居場所づくりには、地域社会や保護者との協力が欠かせないという考えが共通して見られる。

【問7】こども自身がやりたいことを企画・実現できていますか。取組事例や工夫がありましたら教えてください。

① 取組事例等:集計表(同じような回答について取りまとめたもの)

|               | 件数  | 割合     |
|---------------|-----|--------|
| 子どもの意見を反映した行事 | 30  | 30.0%  |
| 中学生の企画運営      | 13  | 13.0%  |
| 学級会や委員会での話し合い | 9   | 9.0%   |
| 自由な発想を尊重する活動  | 7   | 7.0%   |
| 地域と連携したイベント   | 5   | 5.0%   |
| 子ども主体の企画運営    | 4   | 4.0%   |
| 長期休業中の特別活動    | 4   | 4.0%   |
| 成功体験を重視した支援   | 4   | 4.0%   |
| 親子参加の体験活動     | 3   | 3.0%   |
| 保育士との共同企画     | 3   | 3.0%   |
| いずれもあてはまらない   | 18  | 18.0%  |
| 回答数           | 100 | 100.0% |

② 事例の概要

「こどもがやりたいことを企画・実現について」の事例の概要とその方法についてまとめたものです。

### 取り組み事例

1. **\*\*子ども会議の実施\*\***
  - 子どもたちが対話を通じてやりたいことを決めるための会議が定期的に行われている。
2. **\*\*行事の企画運営を子どもが主体的に行う\*\***
  - 運動会や文化祭などの学校行事で、子どもたちが主体的に企画・運営を行う取り組み。
3. **\*\*自由活動の増加\*\***
  - 子どもたちが自分でやりたいことを自由に選べる時間や活動の増加が進められている。
4. **\*\*委員会や生徒会活動\*\***
  - 学級活動や委員会活動を通じて、子どもたちが自分たちのやりたいことを実現する機会を提供している。
5. **\*\*地域イベントへの参加\*\***
  - 地域のイベントに子どもたちが企画段階から参加し、活動を実現する取り組み。
6. **\*\*スケジュールやメニューの子どもによる決定\*\***
  - 合宿や長期休みのイベントで、スケジュールや活動内容を子どもたちの意見を尊重して決める取り組み。
7. **\*\*お泊り会やキャンプの企画運営\*\***
  - 子どもたちが主体的にお泊り会やキャンプの企画を立て、実施する機会を設けている。

8. **\*\*工作活動や体験活動の企画\*\***

- 子どもたちが自由な発想でものづくりや体験活動を企画し、実現することを支援する取り組み。

9. **\*\*アンケートの実施\*\***

- 子どもたちのやりたいことを把握するために、定期的にアンケートを実施している。

10. **\*\*成功体験を重視した活動\*\***

- 個々の子どもが興味を持つ課題を設定し、成功体験を積むことができるように支援する取り組み。

③ 全体を通して共通する考え方や意見等

1. **\*\*子どもの主体性を尊重\*\***

- 全体を通じて、子どもたちが自分で考え、意見を出し、それを実現することが尊重されている。

2. **\*\*地域や保護者との連携\*\***

- 子どもたちのやりたいことを実現するために、地域社会や保護者との協力が重要視されている。

3. **\*\*成功体験の提供\*\***

- 子どもたちが自分たちで企画したことが成功する体験を通じて、自信を持てるようにすることが共通の考え方として見られる。

【問8】生活の中で困難を抱えている(と思われる)子どもと接した経験はありますか。その子どもや家庭の状況を教えてください。

① 子どもや家庭の状況等:集計表(同じような回答について取りまとめたもの)

|               | 件数 | 割合     |
|---------------|----|--------|
| 複雑な家庭環境の子ども   | 12 | 14.6%  |
| 障がいのある子どもの支援  | 11 | 13.4%  |
| 家庭でのDVや虐待の疑い  | 10 | 12.2%  |
| 経済的な困難を抱える家庭  | 10 | 12.2%  |
| 朝食を食べずに登校する児童 | 7  | 8.5%   |
| 家庭での不適切なかかわり  | 6  | 7.3%   |
| 保護者の精神疾患による影響 | 5  | 6.1%   |
| 保護者の養育能力の低さ   | 5  | 6.1%   |
| 不登校傾向の児童      | 4  | 4.9%   |
| 学習面での困難を感じる児童 | 2  | 2.4%   |
| いずれもあてはまらない   | 10 | 12.2%  |
| 回答数           | 82 | 100.0% |

② 事例の概要

「生活の中で困難を抱えている(と思われる)子どもや家庭状況」の事例の概要についてまとめたものです。

### 家庭状況・こどもの状況

1. **\*\*経済的困窮\*\***
  - 家庭が経済的に困難な状況にあり、基本的な生活用品や学用品が揃えられない。
2. **\*\*朝食を食べていない\*\***
  - 朝食をとらずに登校・登園する子どもが多く見られる。
3. **\*\*ネグレクト（育児放棄）\*\***
  - 子どもが十分なケアを受けられず、衛生状態や生活リズムが乱れている。
4. **\*\*親の精神疾患や障がい\*\***
  - 親が精神疾患や知的障がいを抱えており、子育てが困難な状況。
5. **\*\*虐待の疑い\*\***
  - 家庭内での虐待が疑われる子どもが複数存在する。
6. **\*\*発達障がい・知的障がい\*\***
  - 発達障がいや知的障がいを抱えた子どもが多く、特別な支援が必要。
7. **\*\*片親家庭（母子・父子家庭）\*\***
  - 片親家庭で育てられている子どもが多く、育児に困難を抱えているケースが見られる。
8. **\*\*ヤングケアラー\*\***
  - 家族のケアを担わされている子どもが存在し、学業や生活に支障をきたしている。
9. **\*\*生活リズムの乱れ\*\***
  - 夜遅くまで起きていたり、朝起きられない子どもが多く、学校や園への出席に問題がある。

10. **\*\*家庭内での不仲\*\***

- 両親が不仲であり、家庭内での子どもの居場所がない状況。

③ 全体を通して共通する考え方や意見等

1. **\*\*子どもの基本的な生活環境の確保\*\***

- 子どもたちが安定した生活を送れるよう、基本的な生活習慣の確立や衛生状態の改善が重要視されている。

2. **\*\*早期の専門機関へのつなぎ\*\***

- 困難を抱える家庭に対して、早期に専門機関や支援サービスにつなげることが重要とされている。

3. **\*\*個別対応の必要性\*\***

- 子どもの状況に応じた個別の支援が必要であり、一人ひとりのニーズに合わせた対応が求められている。

【問9】支援が必要と思われるこどもや家庭に対して何か行った対処や工夫はありますか。対処や工夫の事例がありましたら教えてください。

① 対処の具体例等:集計表(同じような回答について取りまとめたもの)

|              | 件数 | 割合     |
|--------------|----|--------|
| 関係機関との連携     | 19 | 21.8%  |
| 保護者との相談      | 11 | 12.6%  |
| 情報共有と連携      | 9  | 10.3%  |
| 子どもの特性に応じた支援 | 8  | 9.2%   |
| 専門機関へのつなぎ    | 7  | 8.0%   |
| 保護者への助言      | 7  | 8.0%   |
| 家庭訪問や面談      | 4  | 4.6%   |
| 子どもの安全確保     | 4  | 4.6%   |
| 個別対応の工夫      | 3  | 3.4%   |
| 支援者間の情報共有    | 2  | 2.3%   |
| いずれもあてはまらない  | 13 | 14.9%  |
| 回答数          | 87 | 100.0% |

② 事例の概要

「支援が必要と思われるこどもや家庭に対して行った対処や工夫について」の事例の概要とその方法についてまとめたものです。

### 対処や工夫の具体例

1. **\*\*関係機関との連携\*\***
  - 児童相談所や福祉課、SSW（スクールソーシャルワーカー）など、関係機関と情報共有や連携を密にして支援を行う。
2. **\*\*家庭訪問や面談\*\***
  - 定期的な家庭訪問や面談を行い、保護者との信頼関係を築きながら、子どもの状況を確認する。
3. **\*\*個別対応の強化\*\***
  - 子どもの特性に応じた個別支援を提供し、特に困難を抱える子どもには専任のスタッフを配置する。
4. **\*\*視覚的支援の活用\*\***
  - 言葉の理解が難しい子どもには、絵カードなどの視覚的支援を使ってコミュニケーションを図る。
5. **\*\*早期支援の提供\*\***
  - 問題が早期に発見された場合、迅速に専門機関へつなぎ、必要な支援を提供する。
6. **\*\*食事や生活習慣の支援\*\***
  - 朝食やアレルギー対応など、子どもの食事や生活習慣に配慮した支援を行う。
7. **\*\*保護者の支援\*\***
  - 保護者の困り感やストレスを軽減するために、相談に乗り、必要な支援機関への橋渡しを行う。

8. **\*\*子どもに寄り添った空間作り\*\***
  - 子どもが安心して過ごせる環境を整え、心理的な安全を確保するための工夫を行う。
9. **\*\*勉強会の開催\*\***
  - 発達障がいや不登校など支援が必要な家庭向けの勉強会の開催。
10. **\*\*定期的なケース会議\*\***
  - 校内でケース会議を開き、職員間で情報を共有しながら、組織的に対応策を検討する。

### ③ 全体を通して共通する考え方や意見等

1. **\*\*多機関連携の重要性\*\***
  - 効果的な支援を提供するためには、学校、福祉機関、医療機関などの多機関と連携することが不可欠である。
2. **\*\*個別対応と柔軟性\*\***
  - 子ども一人ひとりのニーズに応じた個別対応が重要であり、その場その場で柔軟に対応することが求められる。
3. **\*\*保護者との信頼関係の構築\*\***
  - 保護者との信頼関係を築くことが、子どもへの支援の効果を高めるための基本となる。

以上